

## シナリオ

訓練実施日時 2024 年 10 月 3 日（木）17：15～18：45

## 【シナリオの説明】

- 新興感染症受入訓練当日までに Discussion①～④について検討し、ワークシート（資料 3）に検討内容を記入してください。

## I．訓練前日までの状況

時間	状況概要
（1 か月前） 2024/9/3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ C 国において、今年 6 月以降、新たな新型インフルエンザ感染症例の報告が増加。</li><li>・ 6 月だけで 507 名の感染者（うち 98 名が死亡）が確認され、1,000 名以上の濃厚接触者が監視対象。</li><li>・ 日本時間当日未明、WHO は専門家による緊急委員会の結果を踏まえ、「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態（PHEIC）」を宣言。</li><li>・ 国は、海外における新型インフルエンザ感染症の発生を受け、「新型インフルエンザ対策本部」を設置。</li><li>・ 各都道府県は、それをうけ、知事を本部長とする「新型インフルエンザ対策本部」を設置し、同時に第 1 回本部会議を開催。</li><li>・ 報道（テレビ、新聞、県庁ホームページ）により、新型インフルエンザの発生を県民に広報、周知。</li><li>・ 帰国者・接触者相談センターを設置。</li></ul>
（3 週間前） 2024/9/12 国内1例目発生	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 九州内の K 県（宮崎県・熊本県以外）において、国内で初めての新型インフルエンザの患者が確認された。</li><li>・ 国は、新型インフルエンザ感染症発生を公表。</li><li>・ 報道（テレビ、新聞、県庁ホームページ）により、新型インフルエンザの九州内での発生を県民に広報、周知。</li></ul> <div><b>Discussion①</b> 自施設では国内で発生した新型インフルエンザに関する情報をどのように施設内で共有しますか？</div>
（2 週間前） 2024/9/19 流行初期突入	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 宮崎県・熊本県内においても、複数の陽性患者が確認される状況となり、県北地区・上益城地区でも複数の患者発生を認め、感染症指定医療機関（県立延岡病院、済生会日向病院、熊本市市民病院）で入院加療している状況となる。</li><li>・ 新興感染症流行初期に確保病床を有する第一種協定指定医療機関に、県から病床確保の要請がある。</li></ul>

## 資料 2：参加者用

### Ⅱ．訓練当日

\* 今回の訓練は宮城県北部で発生したと想定する。それぞれの圏域（日向、延岡、西臼杵、上益城）で患者が発生した場合の医療措置協定における新興感染症流行初期の各施設の役割を確認しながら進める。

時間	状況概要
2024/10/3  8 : 00	《新型インフルエンザ患者の概要》 ・ 宮城県北部在住の 40 代男性。 妻と二人暮らし。 【経過】 ・ 仕事で C 国に滞在。 ・ 7 日前に羽田－宮崎空港経由で帰郷。帰国時に発熱はなかった。 ・ 今朝、起床した際、39.0℃の発熱、倦怠感、全身関節痛、咳嗽を自覚。
<b>Scene1 一般外来受診</b> 流行初期における新興感染症患者の院内持込み防止のための方策	
9 : 00	<div><b>Discussion②</b> 新型インフルエンザを院内に持ち込まないために、一般外来で実施すべき感染対策について検討しましょう。</div> ・ 本人が医療機関を受診したいと考え、最寄りの医療機関【A 病院】を受診（事前に本人から具体的な状況説明はなかった）。 ・ 医療機関【A 病院】の職員が受付をし、聞き取り対応。 ・ 聞き取り対応を行った職員が新型インフルエンザを疑い、医師に報告。 ・ 発熱外来（第 2 種協定指定医療機関）への受診が必要であると判断し、保健所へ連絡。
<b>Scene2 発熱外来（第 2 種協定指定医療機関）受診</b> 発熱外来における新興感染症患者の受入れ体制の確保	
10 : 30	※発熱外来＝流行初期外来受入れ可の第 2 種協定指定医療機関 （R6.6.27 時点：延岡保健所管内 4 医療機関、日向保健所管内 4 医療機関、高千穂保健所管内 1 医療機関、御船保健所管内 22 医療機関） <div><b>Discussion③</b> 発熱外来に新型インフルエンザ疑い患者を受け入れるための体制について検討しましょう。</div> ・ 保健所から発熱外来医療機関【B 病院】に架電。 ・ 保健所からの連絡を医療機関【B 病院】の受付職員が受け取り、対応する。 ・ 聞き取りの対応を行った職員が医師に報告。 ・ 発熱外来を担当する医療機関であることから、医師は受診受入れを決定。有事の際の対応を職員に指示。

## 資料 2 : 参加者用

11 : 30 発熱外来到着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関【B 病院】の職員が保健所に連絡し、来院するよう説明を行う。</li> <li>・本人、家族が医療機関【B 病院】の指定された場所に到着。</li> <li>・妻が運転。本人は後部座席に乗車。</li> </ul>
12 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人は医療機関【B 病院】の個室で臥床し、待機。</li> <li>・Flu 抗原検査で A 型陽性が判明。</li> <li>・医師は、新型インフルエンザ感染症の感染を疑い、保健所に連絡。</li> <li>・保健所と協議の上、疑似症例に合致するか否かを判断。</li> <li>・疑似症患者として、直ちに発生届を保健所へ提出。</li> </ul>
12 : 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所が新型インフルエンザ疑いとして、疫学調査を実施。</li> <li>・疫学調査の結果、PCR 検査実施を決定した。</li> <li>・保健所より発熱外来医療機関【B 病院】へ患者の検体採取を依頼（PCR 検査）。</li> <li>・保健所の調整により、第 1 種協定指定医療機関【C 病院】へ入院することとなった。</li> <li>・この後の患者の行動について、患者、家族へ説明。</li> </ul> <div> <p>【保健所の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○疫学調査</li> <li>○医療機関【B 病院】へ検体採取依頼</li> <li>○検体確保 → 衛生環境研究所へ検体搬送</li> <li>○入院調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 感染症指定医療機関もしくは第 1 種協定指定医療機関へ患者受入れについて連絡し調整（今回の訓練では C 病院に入院）</li> </ul> </li> <li>○患者入院方法の調整</li> </ul> </div>
<h3>Scene3 第 1 種協定指定医療機関へ入院</h3> <p>確保病床における新興感染症患者の受入れ体制の確保</p>	
14 : 00	<p>※流行初期入院受入れ可の第 1 種協定指定医療機関  (R6.6.27 時点 : 延岡保健所管内 1 医療機関、日向保健所管内 1 医療機関、高千穂保健所管内 1 医療機関、御船保健所管内 3 医療機関)</p> <div> <p><b>Discussion④</b></p> <p>確保病床に新型インフルエンザ疑い患者を受け入れるための体制について検討しましょう。</p> </div>
14 : 30 入院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者は第 1 種協定指定医療機関【C 病院】へ入院のため移動。</li> <li>・患者が第 1 種協定指定医療機関【C 病院】へ到着。</li> <li>・感染症病床へ入院。</li> </ul>
その後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 6 時間後に PCR 検査結果が判明した場合は「確定例」へ。</li> </ul>